

## とれたての新米を いち早く消費者へ提供



▲10袋以上購入していく消費者も多く見られた

安全・安心なJAの新米をいち早く消費者へ提供しようと、JAは10月6日と7日の2日間にわたって、毎年恒例の新米直売会を開催致しました。

農産物直売所みよしが館の特設会場で開かれた直売会では、購入を待ちわびていた消費者が列を作り、次々と新米を購入して車へ積み込んでいきました。当日の販売数量は539袋、来場者は約200名で、あいにくの雨模様ではありますが、たくさんの方に購入いただきました。

## 藤里町の農工商が集う 2012町民祭「白神のふるさとまつり」



▲女性部特製ご飯を食べようと人だかりができた

藤里町の2012町民祭「白神のふるさとまつり」が、10月20日から2日間開催され、文化と収穫の秋を楽しむ来場者で大いに賑わいました。

会場では、自慢の作物を展示した農産物品評会や町民による芸能発表会、東日本大震災被災地の特産品販売など、様々な催しが行われました。またJAでは、白神和牛を特価で販売したほか、女性部藤里支部員が新米のカレー味混ぜご飯などを無料提供して、共に町民祭を盛り上げました。

## 中村忠志さんの子牛が優等賞に 第12回子牛品評会



▲肉付きや筋肉の質などを審査した品評会

JA畜産部会は10月16日、白神和牛の更なる品質向上などを目的に、第12回子牛品評会を開催しました。

品評会では農家自慢の子牛25頭が出陳され、県北部家畜保健衛生所などが審査を行った結果、雌部門では中村忠志さん（藤里町寺沢）の『はなひら号』が優等賞に輝いたほか、市川広栄さん（藤里町矢坂）の『ふくひかり号』が優等賞に、また去勢部門では加藤昇さん（藤里町浅間町）の『福安号』が最優等賞となりました。

## 農業体験を通じて 食と農の大切さを学ぶ



▲特大のサツマイモに笑顔の児童

能代市立淳城南小学校では10月2日、JA営農経済事業本部近くの畑で、サツマイモとネギの収穫体験を行いました。

同校の五年生61名を対象に、年4回行われる体験学習もこの日で最後。春に植え付けた種イモや苗が見事に生長した姿に、児童らは感動しながら一つ一つ丁寧に収穫していきました。この農業体験をまとめたものが種苗交換会の学校農園展へ出されたほか、収穫したサツマイモなども一緒に展示されました。